

(4) 「よさ」を生かし、意識化させ、伸ばす指導の手だて

① 発展カードと活用

指導の各段階に、「発展カード」を用いて児童どうしの相互評価、自己評価、教師の評価の活動を組み込んだ。「ホップカード①」は、「鑑賞、発想・構想」の段階で使用したものである。評価の観点は「ア、鑑賞作品の見方や感じ方のよいところ」、「イ、鑑賞活動中の発言や態度のよいところ」とした。

観点アは、基礎的・基本的な内容の定着にかかわることであり、観点イは、児童一人一人の「よさ」を発見し、生かし、意識化させることにかかわることである。「ホップカード②」は下絵の製作で、「ステップカード」、「ジャンプカード①」は彩色段階で、「ジャンプカード②」は仕上げ、鑑賞の各段階でそれぞれ活用した。

これらのカードには、児童の学習の過程の様子と結果が記録されていく。その内容を読んで児童自らが、作品の製作活動に生かすことによって具体的に自分自身の「よさ」が意識化されることになる。

【「ジャンプカード」の活用例】

ここでは、彩色段階で活用した「発展カード」の中の「ジャンプカード①」の例を載せた。観点として「ア、彩色の方法や色あいの工夫のよいところ」、「イ、主題をうまく表出させる工夫のよいところ」（基礎的・基本的な内容）、「ウ、彩色する取り組み方と発表会の時の発言や態度でよかったところ」（児童一人一人の「よさ」にかかわること）を設定した。

＜発展カードの例＞

ホップ
カード①
の【観点】

ア. 鑑賞作品の見方や感じ方のよいところ

イ. 鑑賞の活動中の発言や態度でよかったところ

ホップ
カード②
の【観点】

ア. 表現の意図や構想のよいところ

イ. アイデアスケッチの取り組み方と発表会の時の発言や態度でよかったところ

10月9日()	友だちから	友だちから	友だちから	自分の感想	先生からの助言
<p>ジャンプカード①</p> <p>【観点】</p> <p>ア 彩色の方法や色あいの工夫のよいところ</p> <p>イ 主題をうまく表現させる工夫のよいところ</p> <p>ウ 彩色する取り組み方と発表会の時の発言や態度でよかったところ</p>	<p>(F)さんへ (K)より</p> <p>ア. きれいな色や色あいの工夫 いなかの工夫が素敵だ</p> <p>イ. 石をなげまよこに 工夫がよさそう</p> <p>ウ. 班長よく頑張った おめでとうした。</p>	<p>(F)さんへ (K)より</p> <p>ア. きれいな色や色あいの工夫 いなかの工夫が素敵だ</p> <p>イ. 石のかけまよこに 工夫がよさそう</p> <p>ウ. 班長よく頑張った おめでとうした。</p>	<p>(F)さんへ (O)より</p> <p>ア. 色あいがうまい 中心がしかりかいてある</p> <p>イ. 班長よく頑張った</p>	<p>友だちからのカードを読んだので 自分の気持ちと感想を書いた。</p> <p>ア. いなかの工夫が素敵だ イ. 石のかけまよこに工夫がよさそう ウ. 班長よく頑張った</p>	<p>授業中の助言を書く</p> <p>ア. もっとはつきりして。 イ. 石のかけまよこに工夫がよさそう ウ. 班長よく頑張った</p> <p>先生からの通信 とてもいいよ。 色の明確さを少し増やそう。</p>

② 座席表の活用

指導の各段階ごとに児童を抽出したり、授業中に個別に「よさ」を意識化させたりするための手だてとした。

その時間で指導しなければならぬ内容や次時の指導に役立てるための指導内容や「よさ」を書き込んで活用し、「個人カルテ」にも累積記録していった。

児童座席表		
<p>(図画工作)</p> <p>10月 9日 (月)</p> <p>2校時の【観点】と記号</p> <p>○構図がよい、主題が表れている抽出児童</p> <p>◎相互評価の時の様子</p> <p>○カード記入の時の様子</p> <p>3校時の【観点】と記号</p> <p>△製作時の特性</p> <p>▲作品の抽出児童</p> <p>×特記・その他</p>	<p>×全体の色合いを 考えておこう Y.O</p>	<p>△何色か消す かたが 目的でやる K.I</p>
<p>K.S</p>	<p>A.Y × 和紙の 球がある</p>	<p>N.A ○構図がきれい 色あいがいい</p>
<p>T.O ▲ 和紙の 意図的</p>	<p>×視点を明確に して H.S</p>	<p>×構図をよさげ M.M</p>